

# 消費税引き上げ見越し年度内契約

## 競輪場工事請負費5千万円

### 田中氏と本多氏が追及

午前十時開会。提出議案に対する総括的な質疑を行い、平成三十年度一般会計補正予算など十三件を所管の委員会に付託した。十一時五十九分散会。散会后、競輪特別委員会を開いた。きょう十一日は総務文教、厚生産業の両常任委員会を開く。

弥彦村12月定例会  
3日目  
12月10日

田中氏 改善計画の順序が違う  
来賓席より中央スタンド優先すべき  
本多氏 開催4日間のために作る意味あるか  
費用対効果を質問



答弁する小林村長

議案は平成三十年度補正予算案について田中満男氏(無所属)と本多啓三氏(同)が追及した。施設改善計画は、記念競輪事業特別会計補正予算案で競輪場施設改善する仮設観覧席を常設化する計画の工事請負費五千万円に、老朽化

当初は来年の記念競輪までの完成をめざして、九月定例会に工事請負費二億九千五百万円の補正予算を提案したところ、賛成少数で否決。そのため、村は再来年の記念競輪まで計画を一年先送りし、来年十月の消費税引き上げを見越し、年度内に契約する必要があることから、十二月定例会では五千万円を計上した。五日の全員協議会では計画の優先順位を示すとともに、常設化する新観覧席の工事内容、今後のスケジュールなどを説明。新観覧席の工事費は九月定例会では五億円か

質疑では、田中氏は、新観覧席建設を優先順位が一番に掲げたことに対して「老朽化した施設は多くある。トイレなどは衛生環境上の問題も指摘されている。この改善計

の順位は全く違つたのでないか」として、来賓席よりも中央スタンドなど、改修を優先すべきと訴えた。高島大介公営競技事務所所長は「記念競輪、特別競輪では仮設観覧席をそ

の都度、設置して、また終わると解体に入る。この経費について削減しないといけないので、新観覧席を一番にした」として、仮設観覧席の常設化が主眼と説明。最も利用のあるセターハウスの改修も計画に入っていることを説明した。

中央スタンドの整備について、高島所長は「全国のレストランのある場所はほとんどがガラス張りや冷暖房完備。どのくらい利用があるかといつとセターハウスに比べて少ない」と理解を求めた。田中氏はさらに「老朽化をリニューアルするの筋」と訴えたが、小林村長は「議員の皆さんから仮設観覧席は無駄だ、恒久化しろ」と議論があつた。老朽化については百も承知で、いろいろな場を視察して弥彦が一番ポロだと分かっているのは、今までも言わなかつた」と反論し、寛仁親王牌をもう一度、誘致するために新観覧席が必要と訴えた。

本多氏は寛仁親王牌で四千五百万円、記念競輪で一千四百万円という仮設観覧席の設置工事費に



弥彦村十二月定例会十日本会議総括質疑

ついて常設にした場合、システムにしないのか。一回入札して落札したところは資材を使い回すことができる。競争にならない」と反論した。一般会計補正予算では、ふるさと納税事務等補助金二百六十五万二千円に関連して、赤川幸子氏(公明)が現在のふるさと納税の状況と、返者の人選、表彰内容を質疑品に関する総務省の指問。山岸総務課長は学識経験者はその都度、その

問。山岸喜一総務課長は十一月末現在、寄付金額は約三億六千万円で、前年同期より一億六千万円の増とし、返礼品については十一月から三割以下に見直したことを報告した。名譽村民条例の一部改正では、柏木文男氏(無所属)、板倉恵一氏(同)が選挙委員会の学識経験者の人選、表彰内容を質疑品に関する総務省の指問。山岸総務課長は学識経験者はその都度、その

三糸市セカンドドライブ応援ステーションは十四日午前十時から三糸市厚